

幼穂形成期・出穂期は平年より4日程度早い見込み！

～ 穂肥を適期に施用し品質向上を図りましょう！ ～

1. JA えちご中越 ながおか地区管内の生育状況（6月18日現在）

- ①コシヒカリの生育は並み、草丈はやや長く、茎数多い。葉色並。
②こしいぶきの生育はやや早く、草丈は長い、茎数多い。葉色は並。

	コシヒカリ				こしいぶき			
	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (L)	葉色 (SPAD)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (L)	葉色 (SPAD)
宮内地域	38	395	8.3	37.3	43	596	9.7	40.5
長岡地域	39	422	8.3	39.3	42	491	8.5	40.5
上川西地域	38	411	8.5	38.9	42	464	9.1	41.3
日越地域	36	406	8.4	38.2	40	572	9.6	45.5
長岡地区全体	38	411	8.4	38.6	42	522	9.0	41.3
生育目標(6/20)	35	360	8.2	39.0	34	400	8.4	42.0

※コシヒカリ田植日は5/10～5/19 田植の平均値を記載

2. 出穂期の予想と穂肥時期の目安

(長岡・平場地域 6月18日現在 長岡農業普及指導センター)

	予 想		穂肥時期の目安（出穂前日数）			けい酸入り エコ・5-5 専用穂肥
	幼穂形成期	出穂期	1 回目	2 回目	3 回目※1	
コシヒカリ	7 月 8 日	7 月 31 日	7 月 13～16 日 (18～15)	7 月 21 日 (10)	7 月 28 日 (3)	上限施用量 25kg/10a
こしいぶき	6 月 26 日	7 月 19 日	6 月 26 日 (23)	7 月 5 日 (14)	7 月 16 日 (3)	
こがねもち	7 月 2 日	7 月 25 日	7 月 7～10 日 (18～15)	7 月 15 日 (10)	7 月 22 日 (3)	
わたぼうし	6 月 23 日	7 月 16 日	6 月 24～26 日 (22～20)	7 月 4～6 日 (12～10)	7 月 13 日 (3)	上限施用量 20kg/10a
五百万石	6 月 22 日	7 月 15 日	6 月 25 日 (20)	7 月 3 日 (12)	7 月 12 日 (3)	上限施用量 25kg/10a
ゆきん子舞	6 月 25 日	7 月 18 日	6 月 23～25 日 (25～23)	7 月 4 日 (14)	7 月 15 日 (3)	尿素 1 回目:4.5～5.5kg 2 回目:4.5～5.5kg 合計 9～11kg/10a
ゆきみらい なつひめ	6 月 20 日	7 月 13 日	6 月 20 日 (23)	6 月 30 日 (13)	7 月 10 日 (3)	

※1 高温の年や、穂肥を2回施肥しても葉色が上がらない場合、窒素上限施用量内で3回目の穂肥を出穂の3日前(はしりが見えるころ)までに施用してください。

※ 早生品種は5月1日～5日稚苗移植、中晩生品種は5月10日～15日稚苗移植で予想しています。田植えが5日前後すると、出穂は2日程度前後します。今後の気象条件で予想は変わります。「越淡麗」「あきだわら」「新之助」については後日発表の予定です。

3. 「こしいぶき」の穂肥について

- ◎ 1 回目穂肥は**遅れない**！ ◎ 2 回目は**確実に実施**する！
- ◎ 高温等により葉色が淡い場合は**3 回目穂肥を施用**しましょう！
- ◎ いもち病・紋枯病は**予防防除**！（予防薬剤：フジワンモンカット）
- ◎ 葉色（SPAD値36、葉色カラスケール4.5）を維持！（8/10頃まで）

【出穂期が7月19日の場合】

＜こしいぶき穂肥施用時期＞

＜けい酸入りエコ・5-5専用穂肥施用量＞

1 回目：6月26日頃（出穂23日前）

1 回目 8kg/10a

2 回目：7月 5日頃（出穂14日前）

2 回目 10kg/10a

水稻慣行栽培基準の変更により**高温対策**として化学肥料使用量が増加されました。

	越の輝き有機50元肥 基肥上限量 (kg/10a)	けい酸入りエコ・5-5 専用穂肥 穂肥上限量 18 kg/10a	
分施 (改正前)	30 kg	18 kg	
		変更 ↓	
分施 (改正後)	30 kg	18 kg	穂肥上限量 25 kg/10a 7 kg 高温対策 追加穂肥
※施用量等については、営農センターにご相談願います。			

※大豆後・基盤整備後（盛土部）ほ場では、今後、窒素発現が予想されるため、原則、無施用か減肥するようにしましょう。

4. 「ゆきん子舞」の穂肥について

- ◎ 1 回目穂肥時期を**遅れない**！ ◎ いもち病・紋枯病は**予防防除**！

【出穂期7月18日の場合】

＜10a 当たり散布量＞

＜穂肥の施用時期＞

尿 素

高度化成オール14

1 回目：6月24日頃（出穂24日前）

4.5～5.5kg

1.5～1.8kg

2 回目：7月 4日頃（出穂14日前）

4.5～5.5kg

1.5～1.8kg

尿 素

⇒ 合計

9～11kg/10a (N成分4～5kg/10a)

高度化成オール14

⇒ //

30～36kg/10a (N成分4～5kg/10a)

※ 大豆後ほ場では、1・2回目とも4.5kg/10a ずつ合計9kg/10a を施用

◎ いもち病・紋枯病予防；フジワンモンカット粒剤を6月28日頃（出穂20日前頃）に3～4kg/10a 散布する。

◎ カメムシ斑点米対策；スタークル粒剤を7月18日～7月25日（出穂期～出穂期7日後）に3kg/10a 散布する。

◎ 中干し後の水管理；飽水管理を徹底する。最終かん水は8月12日以後（出穂後25日）とし、早期落水しない。

お問い合わせ先

ながおか営農センター ☎0120-915882

ながおか西営農センター ☎0120-915883